

第 1 回	地域における保健師の活動指針 地域診断モデル①プリシードプロシードモデル ②コミュニティアズパートナーモデル 事前課題「人口統計の基本と主要な健康指標の意味、算出方法、その動向を説明できる。」の説明 担当：布花原明子
第 2 回	地域診断-担当地域の情報収集の方法、アセスメントの視点、健康課題の優先順位- e-Stat 基本的操作のオリエンテーション 担当：布花原明子
第 3 回	地域診断-地域の人口特性、歴史- 担当：布花原明子
第 4 回	地域診断-地域の人口と世帯の特性- 担当：布花原明子
第 5 回	地域診断-地域の生活環境 コミュニティアズパートナーモデル（8つのサブシステム）- 担当：布花原明子
第 6 回	地域診断 地域の保健統計-死亡数・粗死亡率の経年推移及び全国・他地域との比較- 担当：布花原明子
第 7 回	地域診断 地域の保健統計-男女別年齢調整死亡率の推移及び全国・他地域との比較 担当：布花原明子
第 8 回	地域診断-発表・意見交換及び振り返り 担当：布花原明子
第 9 回	公衆衛生看護活動を発展させるための計画・実践・評価 地区活動計画 担当：布花原明子
第 10 回	地域診断事例を通して地域診断・計画・評価における視点を深める 担当：布花原明子
第 11 回	自治体の予算の流れと保健事業の PDCA 担当：布花原明子
第 12 回	北九州市におけるデータヘルスの実際 保健医療福祉における保健師の施策化・事業化の役割 担当：布花原明子、外部講師：北九州市保健福祉局健康増進課 保健師
第 13 回	国・地方公共団体の保健医療福祉計画 担当：布花原明子
第 14 回	地域におけるケアシステム構築の発展過程と保健師の役割 担当：布花原明子
第 15 回	地域アセスメントに基づいた公衆衛生看護活動の方法-個人・家族から集団、地域へ-（まとめ） 担当：布花原明子
テキスト	・ 標美奈子編：標準看護学講座 1 公衆衛生看護学概論，医学書院 ・ 中村裕美子編：標準看護学講座 2 公衆衛生看護技術，医学書院 「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護技術論」で用いたテキストを使用します。その他、必要な資料は配布します。
参考図書・ 教材／デー タベース・	・ 上野昌江編：公衆衛生看護学第3版，中央法規出版 ・ 平野かよこ編：最新保健学講座 5 公衆衛生看護管理論，メヂカルランド社（第 1 章・2 章・6 章）

雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・金子仁子編：行政看護学，日本看護協会出版会 ・保健師ジャーナル（医学書院） ・政府統計 e-Stat ・自治体 HP
課題に対するフィードバックの方法	<p>受講生全体で共有することが望ましい内容は、授業時にフィードバックする。また個別にコメントをつけて返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>本科目は保健師課程国家試験受験資格取得に必要な知識と技術を修得する科目であるため、「疫学」「公衆衛生看護技術論」「対象別公衆衛生看護活動論」「産業看護論」を履修していることが望ましい。また、授業の前半に実施する地域診断（導入）ではグループ課題も多いため、主体的な学習意欲と態度を期待します。また、公衆衛生看護の専門技術ではありませんが、保健師業務では、エクセル、word は欠かせないリテラシーであるため使えるようになってください。</p>

